

三井みわこ 通信(令和3年号)

- 1971年 生まれ 千葉中央区登戸在住
- 2002年 NPO法人ハートケアゆーあい(障がい者の施設)設立
- 2003年 聖徳大学大学院 児童学研究科 修士課程修了
- 2006年 NPO法人政策塾 「一新塾」(熊谷知事と同期)卒塾
千葉県教育戦略ビジョン策定作業部会委員
- 2007年 社会福祉法人「白雪会」の理事に就任、軽費老人ホーム
「ほんだくらぶ」の運営に携わる
- 2008年 ちばCO2CO2ダイエット推進/県民会議委員
- 2010年 千葉市「新市民計画策定のための市民ワークショップ」
委員
- 2011年 千葉市議会議員初当選
- 2013年 都市建設委員副委員長
- 2015年 千葉市議会議員2期目当選
- 2018年 総務委員会副委員長



現在、私は高齢者施設・障がい者施設の運営に携わっています。医療機関では三回目の接種が始まりましたが、今後、一般接種が早く進むよう願っています。今後、コロナ禍、貧困問題が顕在化しております。

特に、「生理の貧困」問題

「生理の貧困」とは・・・生理用品の利用ができないことや状況を指します。

「貧困」という経済的理由だけで起こっている問題と誤解されてしまいますが、要因は様々です。

私は公的な相談員をしていましたが、20年前から虐待で生理ナプキンが買って貰えない等、その要因としては、生活苦、環境的理由、社会的偏見、虐待やネグレクト、生理への無理解、知識不足など多くの深刻な問題があります。

これらの取り組みは社会全体での理解と協力が必要です。

7月中旬に私の所属する団体有志でナプキンの配布を行いました。

日本では、コロナ禍により、経済状況が厳しくなり、「生理の貧困」が顕在化しています。千葉市議会でも生理用品の無償配布を要望し、配布がスタート致しました。



今後も国政・千葉県と連携してコロナ対策、災害対策、高齢者対策、障がい者支援、教育、子育て支援、現場の声を市政に届けて行きます。

★生理用品を無償で配布します

様々なご事情で生理用品を用意できない方に対し、災害用備蓄品の更新時期を迎えた生理用品を窓口で無償配布します。

市役所配布窓口及び時間

各区保健福祉センター 健康課	月曜日～金曜日（祝日除く） 8時30分～17時30分
緑区役所2階 地域振興課くらし安心室	月曜日～金曜日（祝日除く） 8時30分～17時30分
千葉県男女共同参画センター1階 情報資料センター	火曜日～土曜日（祝日除く） 9時00分～20時00分 日曜日 9時00分～17時15分
千葉県中央図書館1階 返却コーナー	火曜日～金曜日 9時30分～20時00分 土曜日・日曜日・祝日 9時30分～17時30分

配布期間

令和3年6月1日（火曜日）から在庫がなくなるまで

配布数

生理用品 623パック（原則1人につき1パック）

受取方法

事前のお申込みは不要です。

上記配布窓口にお越しの上、スマートフォン等でこのページをご提示いただくか、窓口を設置された以下の卓上POPを指さしてください。

※袋に入れてお渡しします。本人確認書類等の提示は必要ありません。

★三井みわこ後援会★

TEL&FAX：043-216-5432 三井みわこホームページ

<https://www.mitsui-miwako.com/>